



令和3年

5月号

しゃきょう
おわせ

～ 今月号の表紙は、介護者の会でレクリエーションをしているようすです。～

令和3年度 事業計画・当初予算



尾鷲よいとこやーやにゃん

基本方針

新型コロナウイルスという未曾有の感染症に翻弄された令和2年度。

かつて経験したことのない長期間の社会・経済活動の自粛は、高齢者や障がい児・者、児童、乳幼児のいる世帯はもちろんのこと、多くの方々が困窮状態に陥っており、私たちに求められている支援が、規模、範囲、内容ともにかつて経験したことのないものになっています。

尾鷲市社会福祉協議会としましては、このような状況に正面から立ち向うべく、令和3年度も、基本理念である「**尾鷲市の誰もが安心して生活できるまちづくりを進めていく**」の考えの基、この地域で生活する皆さんの毎日が、安全に安心して暮らすことができるよう、地域福祉活動・介護活動に全力を注ぎ、各種の福祉事業を確実に展開してまいります。

重点目標

▼地域包括ケアシステムの構築

▼高齢者・障がい者に信頼される相談支援態勢の充実

▼地域支え合い活動の充実

▼介護事業所の安定的な運営

▼社会福祉法人としての組織体制の強化

○お困りのことがありましたら、ご相談下さい。

▽社協全般や、福祉のまちづくりに関すること

…総務・福祉係 (22) 3246

…生活支援係 (37) 4151

▽高齢者の福祉に関すること

…地域包括支援センター (22) 3003

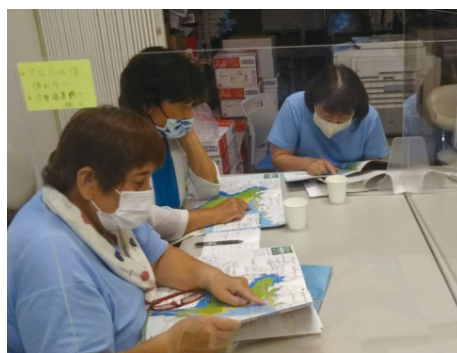
▽障がい児者の福祉に関すること

…障がい者総合相談支援センター結 (22) 3170



⇒わごころ会議

助け合いによる生活支援のしくみを話し合っています。
(生活支援体制整備事業)



⇒ホームヘルパーによるハザードマップを使った災害研修。
(訪問介護事業)



⇒認知症カフェ

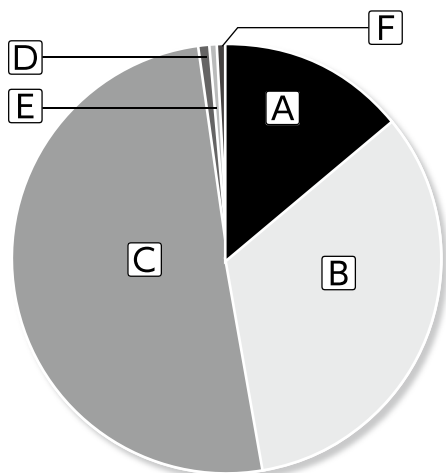
認知症がある方やそのご家族とともにくつろぎの時間や認知症について学ぶ場づくりをしています。
(地域包括支援センター事業)



⇒利用者宅のベッドサイドに浴槽を設置しています。
(訪問入浴介護事業)

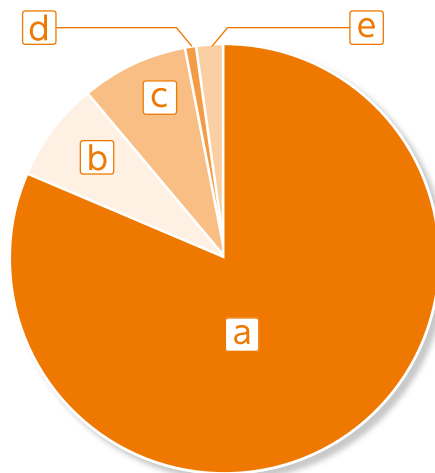
令和3年度 尾鷲市社会福祉協議会 当初予算

収入合計：358,577千円



A 補助金	50,558千円	14.10%
B 受託金	119,116千円	33.22%
C 介護保険・障害福祉サービス収入	181,696千円	50.67%
D 事業収入	3,180千円	0.89%
E みなさまからの会費・寄付	1,700千円	0.47%
F その他	2,327千円	0.65%

支出合計：362,919千円



a 人件費	295,455千円	81.41%
b 事業費	27,984千円	7.71%
c 事務費	29,044千円	8.00%
d 助成金	3,357千円	0.92%
e その他	7,079千円	1.96%

5月1日から5月31日は**赤十字運動月間**です。

日本赤十字社の募金活動で集めた寄付金は、日本赤十字社の【災害救護】【献血等の血液事業】【看護師の養成事業】【赤十字救急法の普及】などを始めとした、苦しんでいる人を救う、いのちと健康を守る活動に役立てられます。
活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。



私たちと一緒に働きませんか？



尾鷲市社会福祉協議会では、ホームヘルパー・訪問入浴スタッフを募集しています！
未経験者や短時間希望なども相談に応じます。

まずはお気軽に
お電話くださいにゃあ！

<お問い合わせ>
☎22-3246

“ずっとウチで
暮らしたい”
を応援!!

障がい者就業・生活支援センター結より

『林福連携について (スマッジ製作体験)』

三月十一日、森林組合おわせ様主催の障がい者就労支援の作業所を対象としたスマッジ等製作連携のための研修会に『障がい者就業・生活支援センター結』の職員も参加しました。

研修会の目的として、三重県では農林水産業の分野で障がい者が活躍できる環境整備に取り組んでいきます。結では地域の福祉課題に関して官民共同で取組む地域協議会の就労部会を定期的に開催しており、二月の部会で林業と福祉の連携を提案し、紀北圏域で新たな雇用創出を進めております。



スマッジとはネイティブアメリカンの間で煙を使って邪気を清めるスマッジングという浄化儀式に使われてきたアイテムです。森林組合おわせでは企業とスマッジの商品化に向けて試作品を製作中で、その作業工程で福祉事業所との連携を模索しています。作業所職員が作業を確認・体験し、自作業所で作業が可能か検討しました。



「マッスルスーツ」を 寄贈していただきました！

～輪内高齢者サービスセンター～

令和2年度吉田福祉基金助成事業として、一般財団法人 吉田福祉基金様より輪内高齢者サービスセンターへマッスルスーツ1台を寄贈して頂きました。このスーツは、人工筋肉の収縮によってワイヤーが引っ張られて介護者の腰の負担を軽減してくれるものです。

これを職員が装着することで、おむつ交換や体位交換、車いすからベッドなどに動かす移乗介助などの際に、職員の負担を軽減し、より一層安全にサービスを提供できるようになります。ありがとうございました。



ありがとうございます！

編集・発行

社会福祉法人

尾鷲市社会福祉協議会

尾鷲市栄町5番5号

☎ 22-3246

<http://www.owasewel.com>